

令和6年度 第1回近江の地場産業および近江の地場製品の 振興に関する施策推進協議会 議事概要

日時 令和6年7月29日(月)

14:30～16:00

場所 滋賀県危機管理センター 災害対策室4

1 議題

(1) 令和5年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況について

(2) 令和6年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策について

2 その他

3 主な意見

議題(1) 令和5年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況について

・事務局より資料に基づき報告と説明

・世界に届け「滋賀の幸」海外PR事業について、台湾でPRする魅力はあるのか。
→台湾の手応えについてはほかの地域よりもある。その理由は、台湾の味の好みは日本と似ている。台湾をターゲットにしているのは、台湾は輸入の壁が高いので、台湾をクリアできれば事業者の力だけでどこでも行ける。

・世界農業遺産まるごと県外PR事業についてはいかがか。
→首都圏を選んだ理由については需要があることと、もう一つ大事なことは発信力がある。他の畜産物に関わらず、首都圏で有名になれば他にも広がっていく。需要プラス発信力を利用して商流を作っていく。京阪神については、首都圏よりも発信力は弱い、県の取組を琵琶湖流域で全面的にPRしていきたい。

・京阪神は来年度のこともあり、大阪駅周辺では大きな新たな商業施設も地方発信に力を入れていくということも耳にしている、京阪神にも積極的に展開してほしい。

い。

- ・海外の需要を求めていくのは個別の業者では難しいので、行政がしっかりとサポートしていくべき。

議題（２）令和６年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策について

- ・事務局より資料に基づき報告と説明
 - ・繊維地場産業の問題として、人手不足がある。高島地区ではハローワークだけでは人は全然集まらない。一番は、経営基盤に対する支援を要望。
 - ・加工機が老朽化してきており、一から完全なものにしようとするコストがかかる。
 - ・信楽焼については、職人がいない。人を育てることが困難。職人を育てるのに最低でも５、１０年とかかる。コロナになって、原材料、釉薬、ガスの値段が高騰している。
 - ・商品を値上げすることを怖がっていたが、特殊なものは値段を上げて売れており、値段で決まるわけではないことが分かった。ただ、一般的な商材は値段に敏感で、ちょっと値上げしただけで売れなくなる。
 - ・海外の販路開拓するためには、まずは視察が重要。風土であったり、コップ一つでも形やサイズが違う。どういったものが売れるか分かって、そういった商品開発に支援があると良い。
 - ・彦根仏壇はライフスタイルが変わってきて、仏壇業界は落ち込んでいる。需要喚起をしても、仏壇はなかなか売れない。職人も高齢化してきている。仏壇の技術を活かした甲冑を中心とした新商品開発で活路を見出そうとしている。
 - ・地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業について、県内で常設展をするのはPRや広報としては良いかもしれませんが、それが効果として現れてきて、実際に販売に繋がっていくとか、滋賀県に人が来る、流入するなかなか難しいのではないかと。
- 後継者不足対策については、直接的な施策を地場産業に対してしてこなかったが、

人材育成としてインターシップを支援し、例えば働く人と雇用する人とのミスマッチが起こらないようにするとか、どういったことができるのか検討していきたい。物価上昇が苦しいという話もあったが、これまで国の交付金を活用しながら生産設備等の補助を行ってきたところではあるが、国の交付金を見ながら引き続きどのようなことができるのか検討してまいりたい。

一つ大きなヒントをいただいたと思うのは、価格転嫁が上手く進んでいるものもあるということ。唯一無二のもので価格の変動にも強いもの作れるのかもしれない。県としては新商品の開発の支援をしながら、唯一無二のものを作る挑戦への支援をしっかりとさせていただきたい。

魅力発信ベース検討事業については、3か年の計画で単に2週間ごとに3か所やるのではなく、そこで得られたデータをしっかり分析することが必要。どのようにやるのか、常設ではないからこそ得られるデータもある。どのような見せ方が良いのか。どのような場所が良いのか。その設置に伴って、事業者のみなさんに負担はないのか。効果が見合うものが得られるのかどうか、しっかり調査をしながら進めてまいりたい。

- 日本の人口減少は政府の予測よりも一気に進んでいる。それぞれの産地が国内需要だけでなく、海外へ活路を見出したり、企業経営を統合なり連携なり強めていくとか、県も危機感をもつ必要がある。
- 長浜縮緬を含めて長浜市の地場産業は厳しい状況。地場産業を振興するためにも仕掛けが大事。これまで、出世まつりを行ってきたが、この10月12日に新たにきものアワードという形で、新たな着物文化に触れてもらうためにファッションショーを行う。
- 農産物については、台湾を中心に県としてやっていたいただいているのはありがたい。長浜市もインバウンド対策は最重要課題として取り組んでいく。
- 施策6の地場産業および地場製品の定期的な調査が、これからは大事。この場の会議だけでなく、定期的に現場に行って、現場とのコミュニケーションをとって施策をすることが重要。